



◆AC100V専用回路
AC100V(±10%)専用電源で
すから常に安定した動作
が得られます。



◆PC連動コンセント
PC連動コンセントに繋いだ
機器の電源をPCに連動して
ON/OFFする事が可能です。

※「TAO-500/550P5V」
「TAO-600P6」
「TAO-680/750P7」



◆電圧調整ダイヤル
※「TAO-6000P6」

通常は+3.3Vと+5Vにコンバイン出力制限があり、
どちらかに負荷が集中すると、もう一方は最大
まで出力できないようになっていますが、
「TAO-600P6」はその制限がありません。
これにより、総容量は余っているのにコンバイン
制限により電力が足りない、といった事が起
こらなくなります。また、+3.3V、+5V、+12Vの
電圧微調整ダイヤル付で、環境による電圧のズ
レを調節する事ができます。

★ATX12Vパワーサプライデザインガイドライン★
ATX12Vパワーサプライデザインガイドライン
(ATX12V PowerSupply DesignGuide)はIntelを
筆頭として作られた団体DesktopFormFactors
(<http://www.formfactors.org/>)によって定め
られており、ATX12V電源を作る上での指標と
なっております。Intel等では、この規格に沿
っていない電源の動作は保証しておりません。
また、同様にEPS12Vパワーサプライデザインガイド
(EPS12V PowerSupply DesignGuide)はEPS12V電源を
作る上での指標となっております。
※ ATX12V Ver2.2 EPS12V Ver2.91 (2005年11月)



◆S-ATAコネクタ
S-ATAコネクタHDD用
◆インテリジェントコネクタ
インテリジェントコネクタに
接続したファンを電源の
ファンと連動してファンコ
ントロール するコネクタ
◆メインコネクタ(24/20pin)

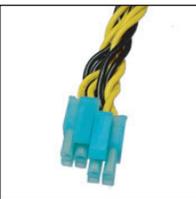
※ジョイントタイプ特許取得
USA (US 6,935,902 B1)
ドイツ (Nr. 20 2005 003 862.8)
台湾 (M257031)
中国 (200420037733.4)



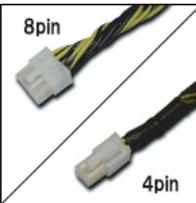
◆ペリフェラルコネクタ
金メッキプラグ採用により、
コネクタ部のノイズをカット
します。



◆6pinコネクタ (2個付)
・PCI Express規格の上位
グラフィックボード用
(ノイズ低減加工)
SLI使用OK
※ 標準搭載は「TAO-680/750P7」



◆+12Vコネクタのジョイントコネクタ
4pin/8pin両対応
※「TAO-500/550P5V」
「TAO-600P6」
「TAO-580WMPV」

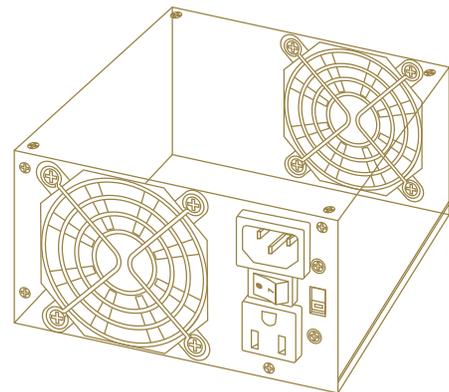


◆+12Vコネクタの8pin,4pin
個別に用意する事でEPS12V
での高出力使用時にも対応
できます。
※「TAO-680/750P7」



◆+12V 系統切替スイッチ
+12V 1系統 (Combine)
多系統 (SPLIT) 切替スイッチ

電源ガイドブック



タオエンタープライズ株式会社
<http://www.taoenter.co.jp>
TEL:048-486-6675

電源ガイドブック

電源の選択ポイント

自分のPCのスペックにあった電源を選択する事です。

電源の容量の大きなものを買えばどんなPC環境でもよいかというと思って決める事ではありません。

自分のPCのスペックより容量の大きい電源は、消費電力を無駄に使ってしまう、ファンの回転がスペックにあった電源に比べてうるさい等の問題があります。その反対に高負荷で使用するのにぎりぎりの容量の電源を使用すると、電源はもちろん他のパーツの寿命も短くなる等、突然動作しなくなるということがあります。

電源の故障の原因で一番多いのは埃です。PCの環境において、埃を巻き込みやすい環境にあると、電源の基盤等に埃が付着して湿気等を帯び、PCの動作が不安定になるなどの影響があります。他のパーツでも同じことがいえます。埃は大敵です。

(静電気防止のはけ等で、PCがOFFの状態のとき電源ファンの部分だけでも掃除するとかなり効果があります)

チェックポイント

- ① メインコネクタは、24pinか20pinか両方使えるか?
- ② PCI Expressで使用する際の6 pinコネクタは?・
(SLIで使用する場合は、6pinコネクタ標準2本付が望ましい。)
- ③ ケースファン等のインテリジェントファンコネクタは?
(コネクタに接続したファンを電源のファンと連動してファンコントロールするコネクタ) 4pinのみ(「TA0-500/550P5V」「TA0-600P6」「TA0-580WMPV」) 4pin, 3pin両方(「TA0-680/750P7」)
- ④ +12V (V1, V2)は2系統あるか? また、2系統(SPLIT)、1系統(Combined)の切替ができるか?
- ⑤ +12Vコネクタの形状は?
4pinのみ
4pin/8pinジョイント式
4pin+8pin個別に両方
(EPS12Vでの高出力使用時にも対応)
- ⑥ ペリフェラルコネクタ(IDE用)の数
- ⑦ S-ATAコネクタの数
- ⑧ 電源独自の機能
 - ◆+12V (V1, V2)を 2系統(SPLIT)、1系統(Combined)の切替スイッチ付 (「TA0-500/550P5V」「TA0-600P6」「TA0-580WMPV」「TA0-680/750P7」)
 - ◆+12V 4系統
+12V出力を内部的に4系統(+12V1~+12V4)に分割する事により、CPUへの出力とその他のパーツへの出力が従来の2系統よりも更に安定し、より安定動作が可能になります。
(「TA0-680/750P7」)

- ◆+3.3V, +5V, +12Vの電圧微調整ダイヤル付(「TA0-600P6」)
- ◆ノイズカット採用のコネクタ付(6pinコネクタ, ペリフェラルコネクタ)
- ◆チタンメッキ加工
 - チタンメッキフレームで電源内部から発生する電磁波を抑制。
 - また、外部からの電磁波により電源が影響を受ける事もほとんどありません。

～電磁波抑制によるメリット～

電磁波は色々な弊害を引き起こします。例えば、HDDへのラインに電磁波が影響すると、転送されたデータが正常でないと判断され、リトライを繰り返したりします。これはHDDのみならずCPU等でも同じ事が起こり得ます。

従って、電磁波対策していないPCはCPU等の能力を十分に発揮できていません。つまり、電磁波対策をきっちりやれば、比較的能力の低いCPUであっても電磁波対策をしていない場合の高性能CPUと同等の能力を発揮したりします。

◆CPU別対応表◆

電源	対応CPU	デュアルCPU	Pentium XE	Pentium D	Pentium 4	Celeron D	Athlon 64X2	Athlon 64	Sempron
TA0-150-P500L	×	×	○	○	◎	○	○	○	◎
TA0-500P5V	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
TA0-550P5V	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
TA0-600P6	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
TA0-470WMPV	×	×	○	◎	○	○	◎	○	○
TA0-580WMPV	×	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
TA0-680P7	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	○
TA0-750P7	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	○

※ デュアルCPU: Xeon, Opteron ※ ◎:最速 ○:OK ×:不可

※更に詳しい情報が欲しい方は下記URLにアクセス!
→ <http://www.taoenter.com/power.html>